



未来のトップ・アスリート発掘・育成プロジェクト

現状と課題

- ◆ 2025年に本県で国民スポーツ大会が開催
- ◆ 前回国体本県開催時（1977年）には、天皇杯1位、皇后杯2位の成績であったが、近年は40位前後と低迷
- ◆ 本県のスポーツ実施率は全国に比べると低く、国民スポーツ大会の本県開催は、県民のスポーツ意欲の向上と運動習慣の定着化を図る好機
- ◆ 全国的なスポーツイベントを地域活性化につなげるため、県民の気運醸成が重要

国スポの開催に向けて、着実に準備を進めるとともに、本県選手の競技力向上や指導者の育成を図り、県民のスポーツへの関心を高める必要

↓
国体や国際大会などで活躍できる選手を育成するため、ジュニア世代の競技力を向上

事業内容



1 あおもりスポーツアカデミー・発掘プログラム

- ・ 将来有望なジュニア選手を輩出するため、選考会を実施し、高い能力を有する小学生を県内全域から発掘する。
【対象：新体カテスト総合A判定の小学校4年生、6年生から各学年30名程度】

2 あおもりスポーツアカデミー・育成プログラム

- ・ 発掘プログラムで選考した選手を対象に、スポーツ医・科学を活用した講義・トレーニングや、多競技種目の体験など、発達段階に応じた育成プログラムを実施する。

3 あおもりスポーツアカデミー・選択プログラム

- ・ 中学校、高等学校進学以降トップアスリートを目指す可能性のある最適な競技種目を選択できるよう、選手・保護者と面談し、アドバイスを行う。

事業効果

全国クラスの大会で活躍する
本県の児童生徒の増加



国スポ（2025年本県開催）
における県勢の活躍



県民のスポーツ
意欲・関心の向上



スポーツを通じた
健康増進・地域活性化